

# ふくしま ★ゆめ ★トライ

福島県内で夢に向かって  
新たなチャレンジをしている方、  
地域を盛り上げるために  
頑張っている方を紹介します！



化粧をした後、着付けをしてかつらを被ります。先輩のアドバイスを受けながら、自分でバランスを見て仕上げをします。

## 生き生きと演じ感動を届けることで 新たな仲間と次の世代へ継承したい

ちばのやばなごまぎ  
千葉之家花駒座  
あべあやか  
阿部彩夏さん(檜枝岐村)



8月のちんじゅじん鎮守神祭奉納歌舞伎では、**たくさん**の  
のぼりが通りを飾ります。「村のみんなで協力して  
準備をするので一体感が生まれます」と阿部さん。



令和6年8月18日の演目は阿部さんの初舞台と同  
じ演目である「玉藻前旭の袂 道春館の段(3段目)」。  
白装束をまとった「初花姫」役を演じました。



福島県内はもちろん、県外からも多くの見物  
客が檜枝岐村を訪れます。

尾瀬檜枝岐温泉観光協会  
☎ 0241-75-2432

福島県の重要無形民俗文化財  
に指定されている檜枝岐歌舞伎。  
江戸時代、村民がお伊勢参りに  
行った際に見聞きした歌舞伎を村  
で広めたのが発祥とされ、280  
年以上にわたり、古典のセリフや  
振り付けなどが親から子へ継承  
されてきました。そんな檜枝岐  
歌舞伎を継承する千葉之家花駒  
座に所属するのが、檜枝岐村出身  
の阿部彩夏さん。「高校進学で村  
を離れ、村外で就職しました。転  
職を機に戻った際、座員に声をか  
けられ裏方として手伝うことに  
なりましたが、翌年には出演する  
ことになり当時はただ驚くばか  
りでした」と振り返ります。最初

は他の役者のセリフが聞き取れ  
ず、演目がどこまで進んでいるか  
分からなかったそうです。渡さ  
れた台本とDVDを繰り返し見  
て流れをつかみ、数ヶ月後に初舞  
台を踏みました。「何回か出演し  
ましたが、独特な言い回しが難し  
く、今でも演じるので精いっぱい  
です。でも、終演後に拍手をもら  
えるとやりがいを感じます」と話  
します。

これからの目標は楽しみなが  
ら演じられるようになること。  
「江戸時代から変わらない歌舞伎  
はそうそうないと思います。自  
分が楽しんで演じる姿を見た次  
の世代の人たちが興味を持ち、花  
駒座に所属してくれたらうれし  
いです」と教えてくれました。



読者から  
のお便り

「ふくしまゆめトライ」でブラウチーズの製造方法などを知ることができて、情熱とこだわりを持って作っていることが分かりました。ヤギちゃんも、かわいいですね！(20代 本宮市)